

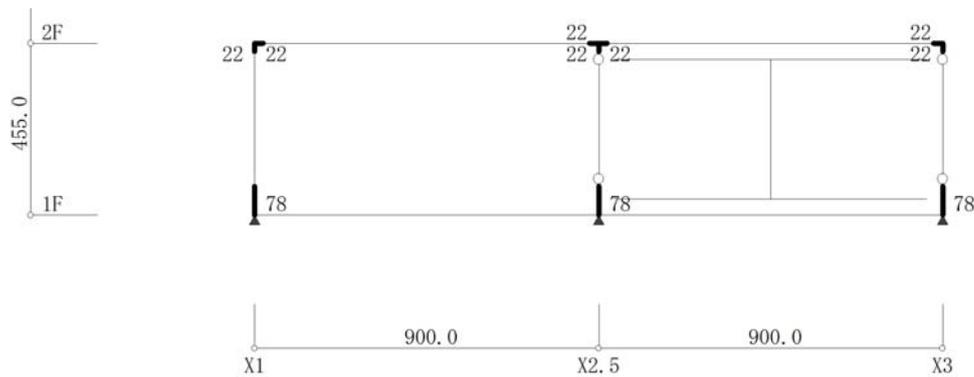
## 「PC2001N」(Ver1.04)改訂内容

- 1、 コンクリートの単位体積重量を計算に使用する比重の入力を省略した場合、 $F_c50$  以上は比重 24 としました。

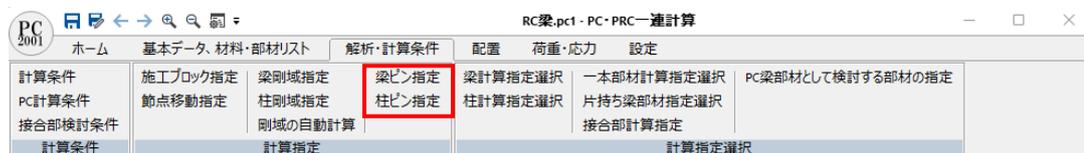
### (2) コンクリートの許容応力度-PC部分

種類	長期に生ずる力に対する許容応力度(N/mm <sup>2</sup> )				プレストレス導入時の許容応力度(N/mm <sup>2</sup> )			備考	弾性係数(kN/mm <sup>2</sup> )	使用部位
	圧縮	引張	斜張	せん断	圧縮	引張	斜張			
FC50	16.67	0.00	0.99	0.99	21.00	1.47	1.47	フル	31.52	3F:RF(梁)
FC30	10.00	0.00	0.79	0.79	13.50	0.95	0.95	フル	24.42	2F:2F(梁)
FC60	20.00	0.00	1.09	1.09	21.00	1.47	1.47	フル	33.50	1F:7F(柱)

- 2、 耐震壁の評価方法をエレメント置換に変更しました。

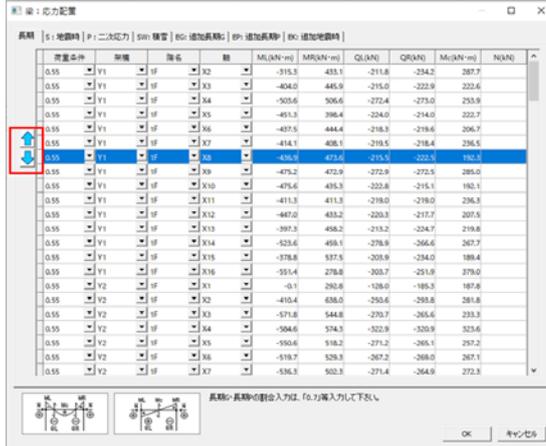


- 3、 柱梁のピン接合指定入力を追加しました。



4、 対話入力に下記の機能を追加しました。

- ・ 値のコピー貼り付け
- ・ 行の入れ替え



5、 対話入力の下記部分を修正しました。

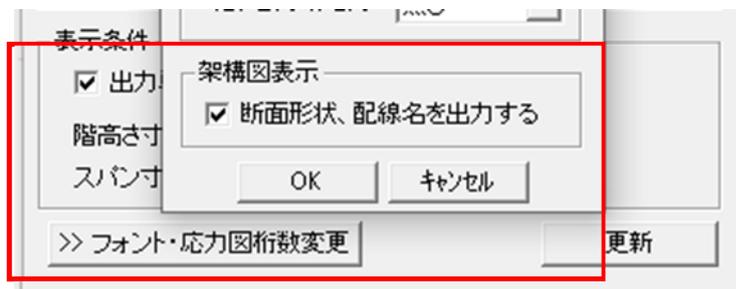
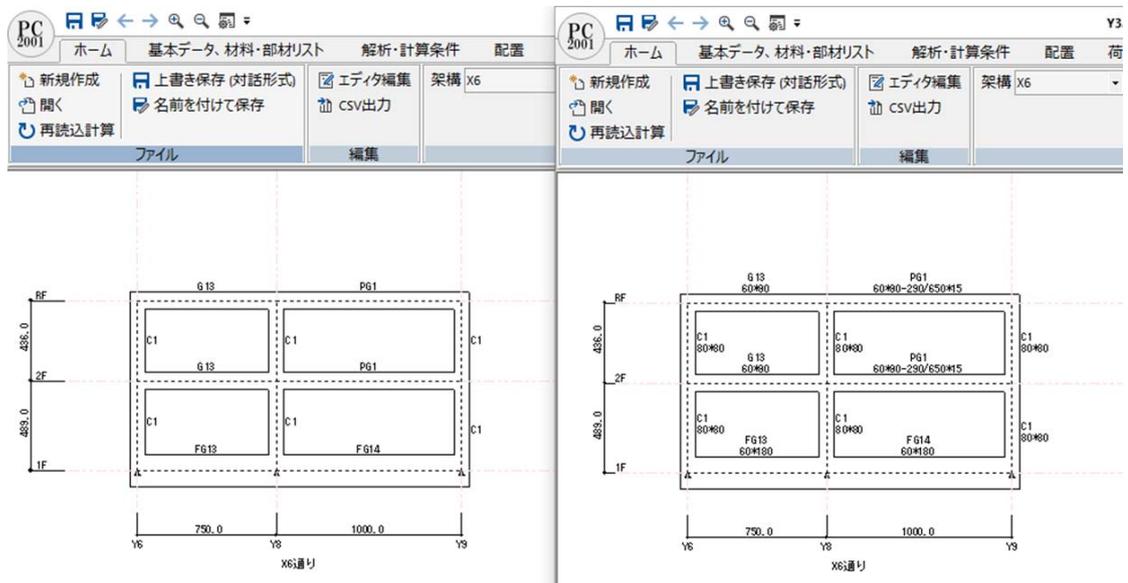
- ・ 上下鉄筋の重心のテキスト変換を修正しました。

6、 断面検定結果に断面形状、PC 鋼材を表現しました。

PC2001  
(5) PC 大梁断面検定表 (2)

位置	F01 2F Y3 X3			F01 RF Y3 X3		
	左端	中央	右端	左端	中央	右端
全長	414.5	1294.7	1066.8	365.8	1188.3	84.7
有効長	330.4	1219.3	311.2	433.9	1525.5	432.9
上鉄筋重心	0.0	0.31	0.34	0.75	0.75	0.13
下鉄筋重心	0.0	0.0	278.2	0.0	0.0	330.3
引張力	640.0	0.0	947.7	690.7	0.0	999.8
モーメント	2347.2	1086.2	2856.3	2650.6	1086.3	2669.7
上鉄筋	0.26	1637.9	0.33	0.26	1696.5	0.37
下鉄筋	242.9	1650.3	0.0	216.2	1628.9	0.0
引張力	1499.0	1294.7	1161.3	1418.3	1188.3	1109.2
モーメント	1380.8	3820.0	1850.8	2147.4	3820.0	2147.4
圧縮率	0.75	0.43	0.60	0.68	0.42	0.52
上鉄筋	0.02		0.13	0.02		0.13
下鉄筋	0.79		0.79	0.79		0.79
圧縮率	0.02		0.15	0.02		0.16
上鉄筋	189.7		462.7	189.6		462.8
下鉄筋	189.7		435.6	189.6		435.6
引張力	355.7		731.3	355.6		731.4
モーメント	977.0		858.4	977.0		857.4
圧縮率	0.67		0.63	0.67		0.62
上鉄筋	1342.5		1309.9	1229.7		1208.1
下鉄筋	0.028		0.028	0.028		0.028
引張力	0.028		0.029	0.029		0.029
モーメント	6313		4086	4947		3785
上鉄筋	0.369		0.341	0.349		0.304
下鉄筋	315.3		737.0	342.7		315.7
引張力	0.011		0.011	0.011		0.011
モーメント	0.029		0.029	0.029		0.029
上鉄筋	3640		2747	4006		3023
下鉄筋	0.245		0.212	0.255		0.229
全長	1000		1000			1000
D/L	12000		12000			12000
Hc	1.12		1.12			1.12
Hr	3284		3284			3284
Hr	536		536			536
α	0.86		0.86			0.86
α	1.15		1.15			1.15
鋼材	06		06			06
上鉄筋	9728018		9728018			9728018
下鉄筋	-246	876	-580	-246	876	-580
引張力	974		974			974
モーメント	740	-173	734	565	-530	567
上鉄筋	1310		1195			1195
下鉄筋	-2.22		-3.22			-3.22
変形増大係数	8.04		8.04			8.04
α	1/15545		1/15504			1/15504
鋼材						
上鉄筋	0.028		0.039	0.028		0.039
下鉄筋	06		06	06		06
鋼材	0.253		0.253	0.253		0.253
備考						

7、 架構モデルの断面サイズの表示を出力有無の選択機能を追加しました。



8、 凡例計算式を追加しました。  
・断面検定表(3)の凡例を追加しました。

9、 せん断終局耐力式に塑性ヒンジ考慮式を追加しました。

計算条件

計算条件 | PC計算条件 | 接合部検討条件

PC梁設計レベル	PC工法パreshアルプレストレス
部材荷重計算の分割数	16
PC部材 せん断終局耐力式	塑性ヒンジ考慮式
RC部材 せん断終局耐力式	従来式 トラス・アーチ機構式 塑性ヒンジ考慮式
PRC梁 許容曲げモーメント計算方法	標準耐力計算
曲げ終局耐力計算方法	PC梁 中立軸より引張側のPC鋼材+圧縮側の導入力 PC柱 引張側鉄筋本数
部材種別計算方法	曲げ終局耐力と同PC鋼材
許容応力度上限値	場所打ち
PRC梁 斜張許容値の出力有無	出力する
PRC梁 曲げ終局耐力計算式	$M_u = 7/8 \cdot T_{ry} \cdot d_r + T_{py}(d_p - 1/8 \cdot d_r)$
PRC梁 せん断終局耐力式の $\alpha_g$ の考慮	考慮する
PRC梁 $\sigma_t$ 上限値	150
RC断面の終局強度設計方法	終局強度設計を行う
長期斜張引張応力度計算方法	$0.49 + F_c/100$
せん断スパン計算条件	長期応力を考慮する $a = M/(QL + QM)$
垂れ壁の考慮	考慮する
導入時の検討	検討しない
RC柱 $M_u$ 算定式	at式
終局限界状態ヒンジ領域回転角 $R_p$ (塑性ヒンジ考慮式に使用)	0.020 (rad) デフォルト値 0.02 (=1/50)

OK キャンセル

塑性ヒンジ考慮式

$$Q_u = \min(Q_{u1}, Q_{u2}, Q_{u3})$$

$$Q_{u1} = \mu \cdot p_{we} \cdot w_{fy} \cdot b_e \cdot j_e + \left( \nu_2 \cdot F_c - \frac{5p_{we} \cdot w_{fy}}{\lambda} \right) \frac{b \cdot D}{2} \tan \theta_1$$

$$Q_{u2} = \frac{\lambda \cdot \nu_2 \cdot F_c + p_{we} \cdot w_{fy}}{3} b_e \cdot j_e$$

$$Q_{u3} = \frac{\lambda \cdot \nu_2 \cdot F_c}{2} b_e \cdot j_e$$

$F_c$  : コンクリートの設計基準強度

$p_{we}$  : 有効補強筋比

$$p_{we} = \frac{a_w}{b_e \cdot s}$$

ただし、 $p_{we} \geq 0.002$ とし、 $p_{we} > 0.012$ の場合は $p_{we} = 0.012$ とする。

$b_e$  : トラス機構に参与する断面の有効幅で、断面重心位置の外側横補強筋のせん断力直交方向への芯々間隔とする。スラブの効果については考慮しない。

$j_e$  : トラス機構に参与する断面の有効せいで、外側横補強筋のせん断力方向への芯々距離とする。

$\nu_2$  : コンクリートの圧縮強度の有効係数  $\nu_2 = (1 - 20R_p) \nu_o$

$\nu_o$  : ヒンジを計画しないときの有効係数  $\nu_o = 0.7 - F_c / 200$

$R_p$  : 終局限界状態でのピンジ領域の回転角(rad)

$\mu$  : トラス機構の角度を表す係数  $\mu = 2 - 20R_p$

$\lambda$  : トラス機構の有効係数で次式による。

$$\lambda = 1 - \frac{s}{2j_e} - \frac{b_s}{4j_e}$$

$b_s$  : 横補強筋の断面方向の最大間隔

$\tan \theta_1$  : 次式による

$$\tan \theta_1 = 0.9 \cdot \frac{D}{2L} \quad ; (L/D \geq 1.5 \text{ の場合})$$

$$\tan \theta_1 = \sqrt{\left(\frac{L}{D}\right)^2 + 1} - \frac{L}{D} \quad ; (L/D \geq 1.5 \text{ の場合})$$

10、 施工時の許容値に PC 規準式を追加しました。

計算条件

計算条件 | PC計算条件 | 接合部検討条件 |

計算ルート 3a

応力割増

	am・Mk	an・Ck	am・Qm
PC梁 応力	1.50	2.25	1.20
RC梁 応力	1.50	2.25	1.20
PC・RC柱 応力	1.50	2.50	1.25

断面検定位置

柱梁フェイス・軸心・剛域端選択

柱 Fフェイス

梁 Fフェイス

※数値入力: フェイスからの入り長さ指定[cm]

積雪荷重の考慮

長期係数 地震時係数 終局設計係数

積雪係数 0.7 0.35 1.4

積雪荷重の考慮 一般地域

施工時の許容値

PC規準 PC規準1998(2009年PC造技術基準)  
PC規準1998(2009年PC造技術基準)  
PC規準2022

材料

コンクリート材料 | PC材料 | 鉄筋材料 |

指定階 2F RF

設計基準強度 FC 30 N/mm<sup>2</sup>

比重 (コンクリートのみ) 23 kN/m

プレストレス導入時の  
コンクリート圧縮強度 Fci 27 N/mm<sup>2</sup>

使用部位

RC造梁 (G)  
 RC造柱 (C)  
 PC造梁 (P)  
 PC造柱 (T)  
 接合部 (X)

追加 更新 削除

No.	指定階	使用部位	FC	比重	Fci
1	1F:RF	G	FC60	23	
2	2F:RF	P	FC30	23	27
3	1F:2F	C	FC24	23	

注) 設計基準強度を指定していない場合は、Fc=21N/mm<sup>2</sup>として計算します。  
注) 接合部の設計基準強度を指定していない場合は、PC梁の設計基準強度を採用します。

【PC 規準 2022 年】

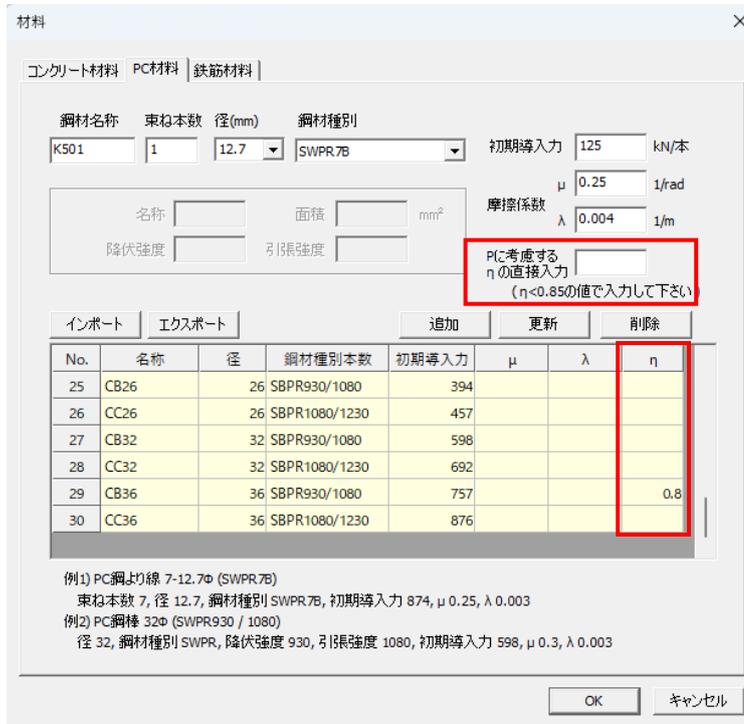
工法	施工時			長期設計荷重時			短期		
	圧縮 (fc')	引張 (ft')	斜張 (fti)	圧縮 (fc)	引張 (ft)	斜張 (fti)	せん断	圧縮	せん断
PC I	0.45Fc かつ Fci/1.7	B	1.35B	Fc/3	0.0	B	-	-	-
PC II		2B			B				

$B : 0.49 + F_c / 100$

PRCⅢとRCの許容値はPC規準1998年と同じ

注) Fciは入力値によります。入力がない場合はFci=Fcとして自動計算を行うため、圧縮許容応力度がPC規準1998年より大きな値となる場合がありますので注意してご使用ください。

1 1、有効率  $\eta$  の入力を追加しました。



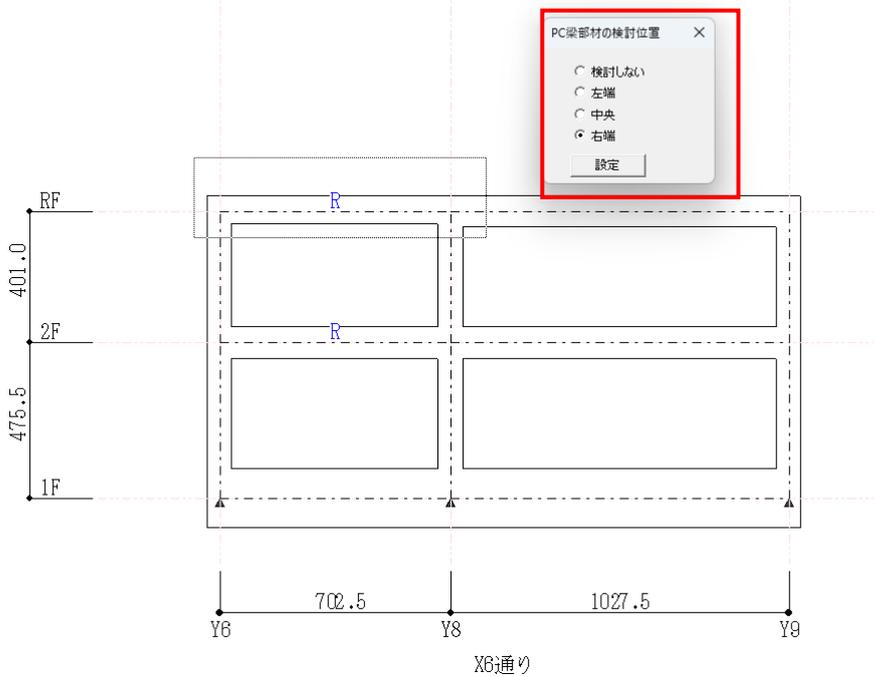
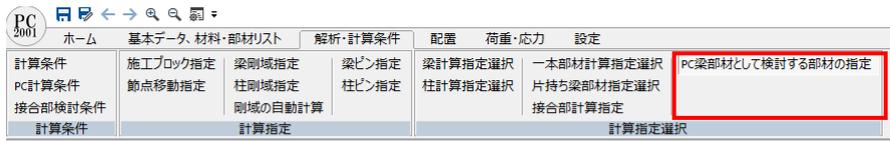
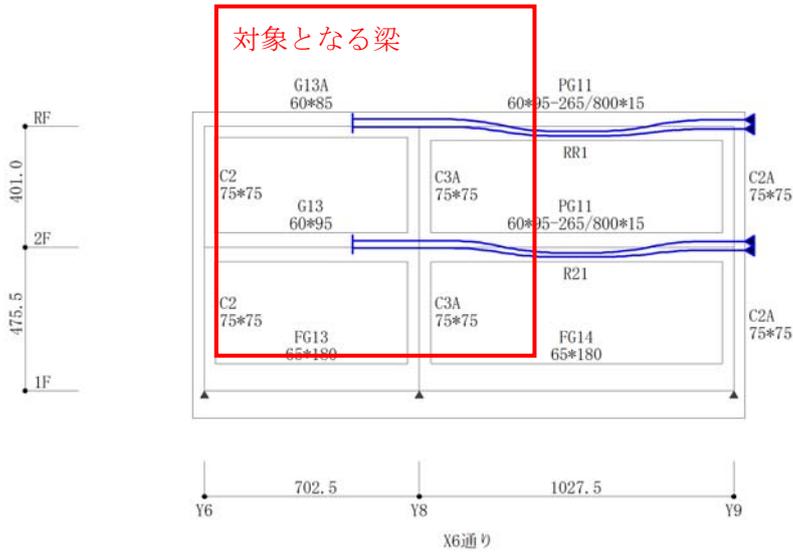
1 2、断面検定の判定が NG の場合赤字表記に変更しました。

せん断の検算	$G+P+X$ (kN)	0.1	$L_c=15000$	0.1	239.8	$L_c=15000$	240.2
	$\tau_o$ (N/mm <sup>2</sup> )	0.00		0.00	0.57		0.57
	$\sigma_g$ (N/mm <sup>2</sup> )	3.46		3.36	3.51		3.39
	$\sigma_t$ (N/mm <sup>2</sup> )	0.00		0.00	0.09		0.09
	$f_{ti}$ (N/mm <sup>2</sup> )	0.79		0.79	0.79		0.79
	$\rho_w$ (%)	0.21	判定 ★NG★	0.21	0.21	判定 ★NG★	0.21
	$M/QD$	8.90		8.92	4.74		4.76
	$Q_u$	947.4		567.6	947.4		778.3
	$1.7(G+P)+X$ (kN)	0.1		0.1	407.8		408.2
	$1.2G+2P+X$ (kN)	0.1		0.1	479.8		480.2
$2PF+2a_nF+EK$ (kN)	0.1		0.1	239.8		240.2	
$G+P+X+\alpha_m Q_u$ (kN)	384.0		385.5	623.6		625.6	
備考							

1 3、剛域自動計算の機能を追加しました。



14、 PCケーブルを連続した梁に部分的に延長した梁を断面検定する機能を追加しました。



3. 断面検定表  
(1) PRC大梁断面検定表(1)

呼称位置	VL2 2F VL2 1F	右端	F911 2F VL2 1F	右端	中央	右端	F911 1F VL2 1F	右端	中央	右端
位置										
形状	b×D (mm)		600×1000	660×980	600×960	600×960	660×980	600×960	600×960	600×960
	R/Ro×t (mm)		2050/16000×150	2050/16000×150	2050/16000×150	18000×180	2050/16000×150	2050/16000×150	2050/16000×150	18000×180
主筋上層筋	5/8-025		5-025	4-025	4-025	4-025	5-025	4-025	4-025	4-025
	5-025		4-025	4-025	4-025	4-025	4-025	4-025	4-025	4-025
主筋下層筋	3-D13-100		2-D13-100	2-D13-200	2-D13-100	2-D13-100	2-D13-100	2-D13-200	2-D13-200	2-D13-100
	2-D13-100		2-D13-100	2-D13-100	2-D13-100	2-D13-100	2-D13-100	2-D13-100	2-D13-100	2-D13-100
配筋	スラブ筋		10-F10	-	-	10-F10	-	-	-	10-F10
	ベンチ長 4t (mm)		100/70-100/70-133/70	(2300-2300)100/70-100/70-100/70		(2300-2300)100/70-100/70-100/70				
コンクリート使用材料			F2/2-F-15.2α-SUPER	F2/2-F-15.2α-SUPER		F2/2-F-15.2α-SUPER				
鉄筋使用材料			Fc24-S0345(S0222)	Fc24-S0345(S0222)		Fc24-S0345(S0222)				
断面	U <sub>1/4</sub> ・J <sub>0</sub> (mm)		100/104/108	144/101/104	100/104/108	144/101/104	100/104/108	144/101/104	100/104/108	144/101/104
	t ×10 <sup>3</sup> (mm)		57.30	79.31	75.40	60.59	79.31	75.40	60.59	
	s ×10 <sup>3</sup> (mm)		124.42	119.27	113.53	91.25	119.27	113.53	91.25	
	σ ×10 <sup>3</sup> (mm)		1710.00	1720.00	1580.00	705.00	1720.00	1580.00	705.00	
	σ <sub>y</sub> ×10 <sup>3</sup> (mm)		246.23	230.41	225.20	152.07	230.41	225.20	152.07	
	σ <sub>d</sub> ×10 <sup>3</sup> (mm)		135.55	130.92	122.57	109.54	130.92	122.57	109.54	
	MG (MPa)		-512.4	-724.3	390.2	-508.3	-511.8	413.7	-370.9	
	ME (MPa)		-262.3	-310.4	157.2	-217.8	-252.2	177.3	-159.0	
	MX (MPa)		110.3	600.2	651.4	502.7	754.3	635.6	493.0	
	MY (MPa)		-42.8	57.0	-11.5	-79.8	58.4	-2.3	-52.8	
応力	σ <sub>0</sub> (MPa)		52.0	-342.6		253.1	-309.6		242.8	
	σ <sub>F</sub> (MPa)		35.1	-145.8		121.3	-132.7		104.1	
	σ <sub>K</sub> (MPa)		-11.1	9.5		9.5	25.3		25.3	
	σ <sub>R</sub> (MPa)		19.9	14.2		14.2	12.5		12.5	
	σ <sub>E</sub> (MPa)		2531.9	2540.4	3023.2	2577.5	3075.0	4231.7	3745.2	
	σ <sub>0</sub> (MPa)		23.3	35.1	390.4	25.8	35.1	390.4	25.8	
	σ <sub>F+Y</sub> (MPa)		-501.5	-124.1	941.6	-5.5	172.5	1052.3	122.1	
	σ <sub>y</sub> (N/mm <sup>2</sup> )		-0.55	0.58	0.74	3.31	2.45	-0.14	5.45	
	σ <sub>d</sub> (N/mm <sup>2</sup> )		5.84	3.35	3.75	4.45	2.95	7.41	5.09	
	σ <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )		10.80	10.80	10.80	10.80	10.80	10.80	10.80	
変形	ε <sub>0</sub> (MPa)		1.52	1.52	1.52	1.52	1.52	1.52	1.52	
	ε <sub>F</sub> (MPa)		2407.1	2414.4	2559.7	2275.1	3079.5	3595.9	3155.0	
	ε <sub>0</sub> (mm)		23.3	35.1	390.4	25.8	35.1	390.4	25.8	
	ε <sub>F+Y</sub> (MPa)		-739.2	-513.3	1020.0	-322.2	-425.8	1291.7	-231.1	
	ε <sub>y</sub> (N/mm <sup>2</sup> )		-1.54	-1.19	1.50	0.72	-0.41	1.54	2.45	
	ε <sub>d</sub> (N/mm <sup>2</sup> )		7.27	3.97	1.39	5.70	3.15	3.05	7.37	
	ε <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )		5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	
	ε <sub>t</sub> /ε <sub>c</sub> /ε <sub>b</sub>		-/2.12/3.55		-/2.12/3.55		-/2.12/3.55		-/2.12/3.55	
	ε <sub>max</sub> (mm)		0.200	0.200			0.200			
	ε (mm)		70	70			70			
ひび割れ幅	σ <sub>ce</sub> (mm)		120000	130000		130000		130000		
	σ <sub>e</sub> (mm)		0.025	0.023		0.023		0.023		
	σ <sub>av</sub> (mm)		255	255		255		255		
	ε <sub>sh</sub> ×10 <sup>-3</sup>		0.2000	0.2000		0.2000		0.2000		
	ε <sub>sh</sub> ×10 <sup>-3</sup>		0.3170	0.2973		0.2973		0.2973		
	σ <sub>t</sub> (N/mm <sup>2</sup> )		125.23	125.05		125.05		125.05		
	σ <sub>c</sub> /σ <sub>b</sub> /σ <sub>sh</sub>		100/100/100	100/100/100		100/100/100		100/100/100		
	σ <sub>c</sub> /σ <sub>b</sub> /σ <sub>sh</sub>		100/100/100	100/100/100		100/100/100		100/100/100		
	σ <sub>c</sub> /σ <sub>b</sub> /σ <sub>sh</sub>		100/100/100	100/100/100		100/100/100		100/100/100		
	σ <sub>c</sub> /σ <sub>b</sub> /σ <sub>sh</sub>		100/100/100	100/100/100		100/100/100		100/100/100		
曲げ耐力	Fe <sub>0.1</sub> -σ <sub>0</sub> -α (mm)		1.00-[1.50-2.25-1.20]	1.00-[1.50-2.25-1.20]		1.00-[1.50-2.25-1.20]		1.00-[1.50-2.25-1.20]		
	σ <sub>0</sub> (MPa)		2220.0	4440.0	0.0	2220.0	3105.0	0.0	3105.0	
	σ <sub>F</sub> (MPa)		1245.0	0.0	2559.7	1170.1	1745.1	3595.9	1537.5	
	σ <sub>K</sub> (MPa)		557.2	550.0	550.0	550.0	550.0	550.0	550.0	
	σ <sub>R</sub> (MPa)		750.0	575.0	0.0	550.0	700.0	0.0	550.0	
	σ <sub>c</sub> (MPa)		500.0	0.0	224.5	350.0	450.0	224.5	350.0	
	σ <sub>d</sub> (MPa)		453.4	452.1	272.4	345.0	454.2	355.3	451.5	
	σ <sub>0</sub> (MPa)		3517.5	2707.7	540.0	2159.1	2950.4	792.5	2509.7	
	L <sub>1</sub> /L <sub>2</sub> ×10 <sup>3</sup> (mm)		1351.2	1237.5	0.0	530.5	1040.5	0.0	502.0	
	L <sub>1</sub> /L <sub>2</sub> ×10 <sup>3</sup> (mm)		1123.9	955.5	0.0	541.7	513.3	0.0	454.3	
耐力	σ <sub>0</sub> (MPa)		524.1	504.4	0.0	430.2	405.5	0.0	255.2	
	σ <sub>F</sub> (MPa)		1154.4	759.5	759.5	759.5	759.5	759.5	759.5	
	σ <sub>K</sub> (MPa)		4440.0	4440.0	4440.0	4440.0	5215.0	5215.0	5215.0	
	σ <sub>R</sub> (MPa)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	σ <sub>c</sub> (MPa)		350.0	550.0	550.0	550.0	550.0	550.0	550.0	
	σ <sub>d</sub> (MPa)		375.0	375.0	725.0	420.0	375.0	725.0	420.0	
	σ <sub>c</sub> (MPa)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	σ <sub>d</sub> (MPa)		105.0	95.7	95.7	174.4	132.3	132.3	233.5	
	σ <sub>0</sub> (MPa)		2459.5	2125.3	3550.3	2125.7	2520.0	4755.5	2414.2	
	L <sub>1</sub> /L <sub>2</sub> ×10 <sup>3</sup> (mm)		0.0	0.0	1410.1	0.0	0.0	1705.4	0.0	
応力	L <sub>1</sub> /L <sub>2</sub> ×10 <sup>3</sup> (mm)		0.0	0.0	1255.2	0.0	0.0	1551.7	0.0	
	L <sub>1</sub> /L <sub>2</sub> ×10 <sup>3</sup> (mm)		0.0	0.0	1040.3	0.0	0.0	1215.2	0.0	
	σ <sub>F+Y</sub> (MPa)		Lo=5275	475.0	Lo=5525	415.5	525.3	Lo=5525	453.5	
	ε <sub>0</sub> (N/mm <sup>2</sup> )		0.24	1.11	1.11	1.04	1.22	1.15	1.15	
	ε <sub>d</sub> (N/mm <sup>2</sup> )		1.41	1.40		3.23	1.95	4.52	4.52	
	ε <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )		0.04	0.51		0.31	0.55	0.25	0.25	
	ε <sub>t</sub> (N/mm <sup>2</sup> )		0.73	0.73	判定	0.73	0.73	判定	0.73	
	ε <sub>0</sub> (mm)		0.42	0.39	判定	0.42	0.39	判定	0.42	
	ε <sub>d</sub> (mm)		5.02	3.23		2.97	3.35	3.09	3.09	
	σ <sub>0</sub> (MPa)		545.5	554.4		515.9	530.0	555.1	555.1	
L <sub>1</sub> /L <sub>2</sub> ×10 <sup>3</sup> (mm)		151.2	520.5		595.9	534.9	705.4	705.4		
L <sub>1</sub> /L <sub>2</sub> ×10 <sup>3</sup> (mm)		150.7	553.3		593.5	719.9	515.2	515.2		
σ <sub>0</sub> (MPa)		145.0	511.5		445.1	500.1	445.5	445.5		
σ <sub>0</sub> (MPa)		593.5	1055.5		957.5	1145.9	1055.5	1055.5		

備考

15、 台形、I形のせん断力検討用の幅は、最小幅を採用するように修正しました。

16、 断面検定表のタイトル表記の一部を修正しました。

17、  $P_w$  が 0.2%を下回る場合、断面検定表に赤字で注意を表示する仕様に変更しました。

せん断力の検討	応力	G+P+X (kN)	538.9	Lo=9200	432.1
	度	$\tau_o$ (N/mm <sup>2</sup> )	1.07		0.86
		$\sigma_g$ (N/mm <sup>2</sup> )	1.58		2.66
		$\sigma_t$ (N/mm <sup>2</sup> )	0.54		0.26
		f <sub>ti</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	0.79	判定	0.79
	終局	p <sub>w</sub> (%)	0.16	Ok	0.32
	耐力	M/QD	2.89		2.83
		Q <sub>u</sub> (kN)	1187.3		1463.6
		1.7(G+P)+X (kN)	922.5		728.2
		1.2G+2P+X (kN)	780.0		618.2
		G+P+X+ $\alpha_n \cdot F_{es} \cdot K$ (kN)	841.9		735.1
		G+P+X+ $\alpha_m \cdot Q_m$ (kN)	1203.0		1034.4
	備考				

18、 荷重項の出力に設計時の値を表示する仕様に変更しました。

固定端モーメントの計算

位置	L(m)	Gh(m)	Phe(m)	e(m)	P(kN)	M(kN・m)	PP(kN)
0	0.00	0.304	0.399	0.096	2930.0	280.1	-1.1
1	0.62	0.304	0.399	0.096	2937.3	280.8	-63.5
2	1.25	0.304	0.412	0.108	2979.5	321.2	-169.8
3	1.88	0.304	0.458	0.154	3028.8	467.7	-181.9
4	2.50	0.304	0.540	0.236	3079.3	727.9	18.9
5	3.12	0.304	0.620	0.316	3092.5	976.3	185.9
6	3.75	0.304	0.664	0.360	3077.2	1108.5	183.8
7	4.38	0.304	0.675	0.372	3029.7	1125.8	32.8
8	5.00	0.304	0.675	0.372	3021.1	1122.6	-0.0
9	5.62	0.304	0.675	0.372	3012.5	1119.4	67.5
10	6.25	0.304	0.666	0.362	2969.2	1074.0	148.2
11	6.88	0.304	0.625	0.321	2917.9	936.0	139.7
12	7.50	0.304	0.552	0.248	2867.1	710.7	47.0
13	8.12	0.316	0.477	0.162	2817.1	456.0	-132.5
14	8.75	0.333	0.435	0.103	2768.2	284.1	-145.9
15	9.38	0.350	0.425	0.075	2726.3	203.4	-101.3
16	10.00	0.356	0.425	0.068	2718.4	186.0	-27.8

固定端モーメント  
梁の平均軸力

M <sub>ab</sub> =	730.5 (620.9)	M <sub>ba</sub> =	-662.9 (-563.5) (kN・m)
PN =	29.4 (kN)	※()	内は設計時 $\eta = 0.85$ を乗じた値